

教養科目

科目名	社会学			担当者名	石綿 寛		
開講期	春	分類	選択	単位	4	年次	1・2年
授業の目標	この授業を履修することにより、学生は社会学の基本的な考え方、理論や概念について理解を深め、さまざまな社会事象について検討することができるようになる。						
授業の概要	社会学の基本的な理論、概念、方法論的立場について講義を行う。社会と個人をめぐる理論や考え方を、現代の社会変化を考慮したうえで紹介し、具体的な社会事象との関連性についても論じる。						
準備学習の内容	参考書など、社会学関連の書籍に積極的に親しみ、授業内容に対する関心を育むことを期待する。また、レポートの作成のために、各自で自習することが望まれる。目安となる時間は2時間程度とする。						
各回の授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会学とはどのような学問か(1)</li> <li>2 社会学とはどのような学問か(2)</li> <li>3 社会学とはどのような学問か(3)</li> <li>4 個人と社会：社会規範について</li> <li>5 アイデンティティについて(1)</li> <li>6 アイデンティティについて(2)</li> <li>7 アイデンティティについて(3)</li> <li>8 逸脱と排除(1)</li> <li>9 逸脱と排除(2)</li> <li>10* 組織と近代(1)：官僚制</li> <li>11 組織と近代(2)：ネットワーク</li> <li>12 暴力の変化(1)：世界システム論</li> <li>13 暴力の変化(2)：世界システム論の変化</li> <li>14 暴力の変化(3)：事例研究</li> <li>15 労働の意味(1)：労働の概念とは</li> <li>16 労働の意味(2)：労働を巡る制度の変遷</li> <li>17 コミュニケーション(1)</li> <li>18 コミュニケーション(2)</li> <li>19 家族：制度としての家族</li> <li>20* 都市と地方(1)：地方と近代化</li> <li>21 都市と地方(2)：都市と近代化</li> <li>22 貨幣について</li> <li>23 近代とポスト近代(1)：構造主義からポスト構造主義へ</li> <li>24 近代とポスト近代(2)：社会の近代化からの変化</li> <li>25 社会学の方法論を巡って(1)</li> <li>26 社会学の方法論を巡って(2)</li> <li>27 社会学の方法論を巡って(3)</li> <li>28 まとめ</li> </ol> <p>【教職員間授業公開日：5/21(月)、6/25(月)】</p>						
評価方法	出席および授業参加(35%)、リアクションペーパー(35%)、レポート(30%)						
テキスト	特になし。プリントを配布して授業を進める。						
参考書	西澤晃彦・渋谷望著 2008年『社会学をつかむ』(有斐閣)						
その他特記事項							